

# 平成30年度 第2回京都府入札制度等検討委員会 次 第

日時:平成31年3月26日(火)

午後3時～午後4時半

場所:御所西京都平安ホテル

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議 事

(1)平成30年度入札実施状況等について (資料1)

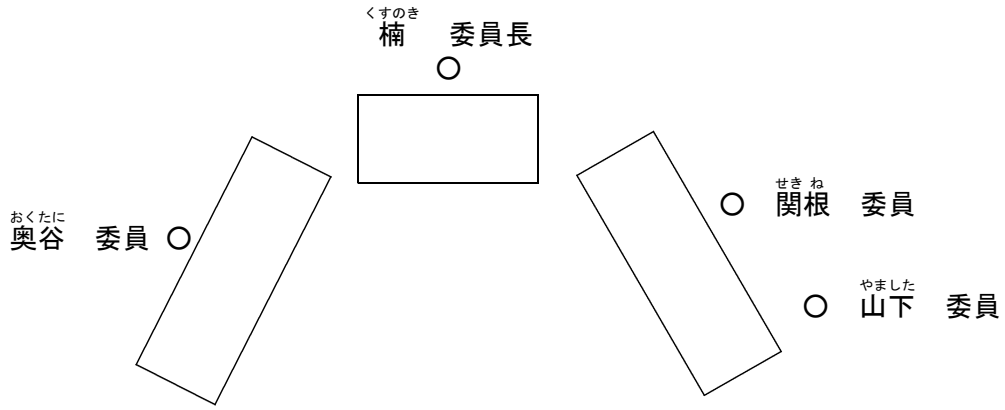
(2)平成31年度入札契約制度等の改善に向けた取り組みについて (資料2)

(3)その他 (資料2)

## 4 閉 会

# 平成30年度第2回京都府入札制度等検討委員会 座席図

日時：平成31年3月26日(火)  
場所：御所西京都平安ホテル



( 事 務 局 ) 1列目

○林担当課長  
○大石技監  
○前田副部長  
○浅山課長  
○西村担当課長  
○入江副課長

( 事 務 局 ) 2列目

○ ○ ○ ○ ○ ○

一 般 傍 聴 席 3列目

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

記  
者  
席

出入口

# 京都府入札制度等検討委員会

## 委員名簿

平成31年3月現在

役職	委員名	現職	摘要
委員長	くすのき しげき 楠 茂樹	上智大学法科大学院教授	
委員	おくたに きょうこ 奥谷 恭子	公認会計士	
	かわかつ たけし 川 勝 健志	京都府立大学公共政策学部准教授	
	せきね えいじ 関根 英爾	ジャーナリスト（元京都新聞論説委員）	
	やました のぶこ 山下 信子	弁護士	

任期：平成29年10月13日～平成31年10月12日

（敬称略、委員は五十音順）

### 3. (1)平成 30 年度入札実施状況等について

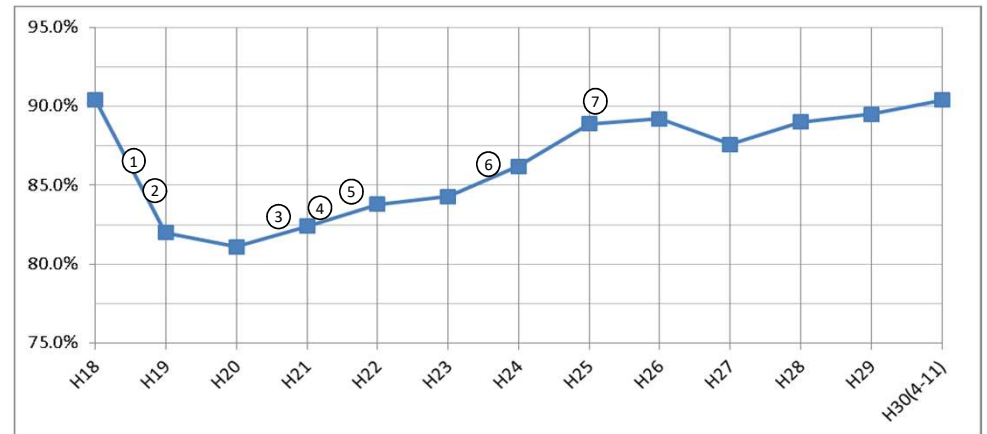
- ① 建設工事の入札状況の推移……………P1
- ② 予定価格の事後公表の試行状況……………P2
- ③ 入札の状況分析…………… P3
- ④ 測量等業務委託に係る最低制限価格設定後の入札状況……………P5
- ⑤ 発注類型別一覧表……………P6
- ⑥ 公契約大綱に係る元請下請関係適正化実施状況調査結果……………P7

建設工事の入札状況の推移

契約件数・平均落札率・平均参加者数 及び くじ引き・失格発生状況(競争入札に付した予定価格が250万円超の建設工事が対象(同期間内に契約したもの:紙入札を含む))

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度 (4~7月)	30年度 (8~11月)	30年度 (4~11月)
契約件数	1,842	1,625	1,564	1,706	1,487	1,316	1,307	1,530	1,329	1,237	1,197	1,084	273	405	678
平均落札率	90.4%	82.0%	81.1%	82.4%	83.8%	84.3%	86.2%	88.9%	89.2%	87.6%	89.0%	89.5%	89.2%	90.5%	90.0%
平均参加業者数	10.0	14.3	15.3	15.6	16.8	17.2	15.1	11.3	10.5	13.0	15.1	14.3	11.0	11.2	11.1
不調・不落発生件数 (発生率)	- -	- -	- -	- -	- -	- -	9 (0.7%)	64 (4.2%)	52 (3.9%)	5 (0.4%)	10 (0.8%)	11 (1.0%)	1 (0.4%)	24 (5.9%)	25 (3.7%)
くじ引き発生件数 (発生率)	23 (1.2%)	79 (4.9%)	167 (10.7%)	399 (23.4%)	466 (31.3%)	228 (17.3%)	158 (12.1%)	125 (8.2%)	118 (8.9%)	216 (17.5%)	406 (33.9%)	647 (59.7%)	143 (52.4%)	200 (49.4%)	343 (50.6%)
失格発生件数 (発生率)	123 (6.7%)	554 (34.1%)	690 (44.1%)	1,042 (61.1%)	970 (65.2%)	943 (71.7%)	882 (67.5%)	893 (58.4%)	754 (56.7%)	801 (64.8%)	834 (69.7%)	548 (50.6%)	104 (38.1%)	133 (32.8%)	237 (35.0%)
全者失格件数 (発生率)	- -	- -	- -	- -	- -	3 (0.2%)	13 (1.5%)	25 (2.7%)	24 (3.2%)	10 (0.8%)	11 (0.9%)	10 (0.9%)	1 (0.4%)	8 (2.0%)	9 (1.3%)
公契約大綱に基づくダンピング対策等	①「京都府公共調達改善の骨子(中間報告)」に基づく入札制度改革 H19.3		③最低制限価格等の見直し H20.12	④最低制限価格設定対象工事の拡大 H21.7	⑤最低制限価格等の見直し H22.1	⑥最低制限価格等の見直し H23.12	⑦最低制限価格等の見直し H25.5		※下線部については、諸経費率改定の影響	⑧最低制限価格等の見直し H28.4	⑨最低制限価格等の見直し H29.4			速報値	速報値
	②ア 一般競争入札を1千万円以上に拡大 応札可能者30者以上 H19.4														
	イ 指名競争入札の指名業者数の拡大(10者→20者)														

平均落札率の推移  
(○数字は京都府の取組)



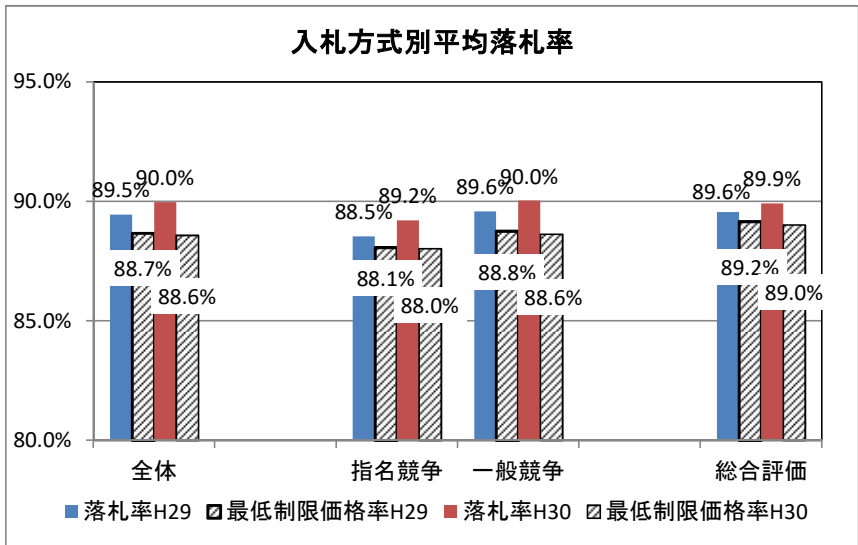
## 予定価格の事後公表の試行状況について

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度(4月～11月)	
	事前公表	事後公表	事前公表	事後公表	事前公表	事後公表	事前公表	事後公表
件数	965	272	902	295	812	272	474	204
平均落札率	87.3%	88.7%	88.8%	89.6%	89.0%	90.7%	89.5%	91.1%
平均参加者数	12.7	13.8	14.7	16.2	14.7	12.8	11.7	9.8
くじ発生率	19.9%	8.8%	39.1%	18.0%	70.3%	27.9%	61.8%	24.5%
失格発生率	63.3%	66.2%	70.2%	68.1%	51.4%	48.2%	36.3%	31.9%
平均失格者数	4.4	6.0	5.2	6.2	3.0	3.9	3.5	3.3

※対象:競争入札に付した予定価格が250万円超の建設工事(同期間内に契約したもの:紙入札を含む)

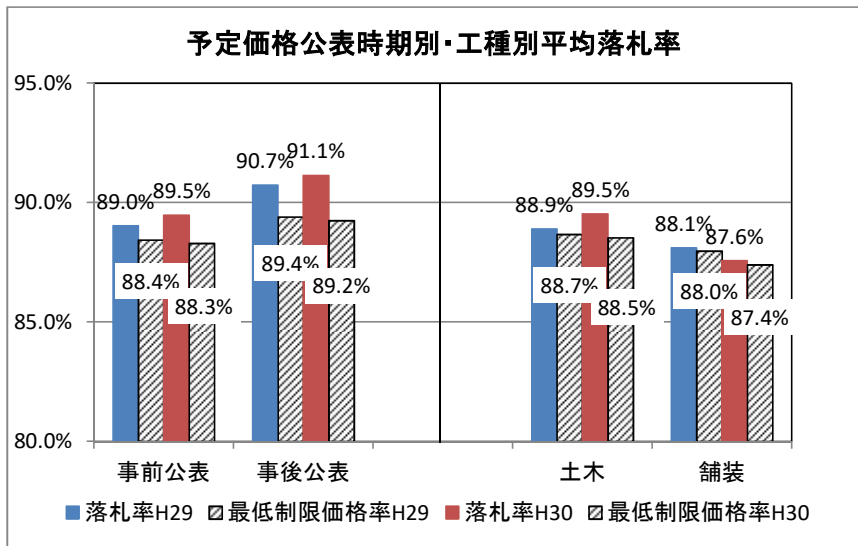
※平均失格者数:失格が発生した案件における失格者数の平均値

# ◆入札状況分析(1)



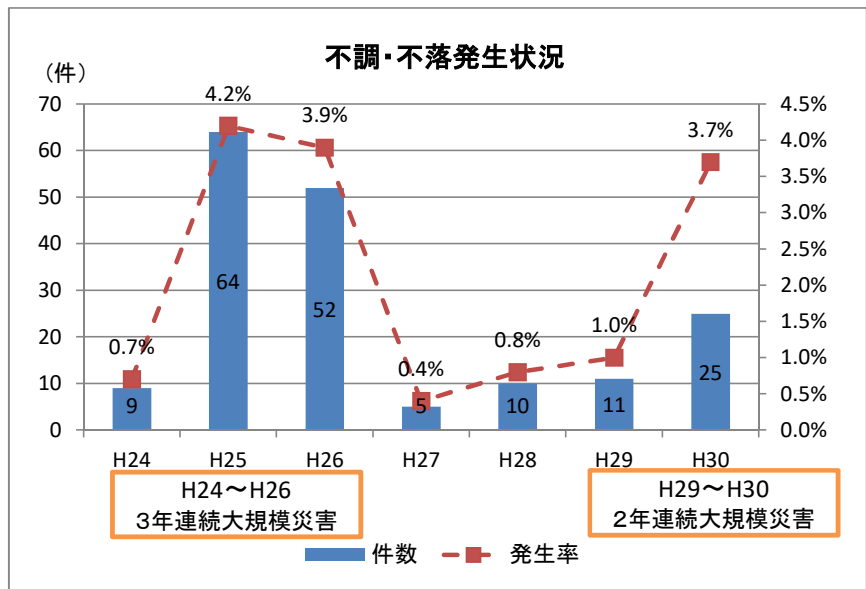
**落札率**  
 (H29) 89.5%  
 ↓ +0.5  
 (H30) 90.0%

**最低制限価格率**  
 (H29) 88.7%  
 ↓ Δ0.1  
 (H30) 88.6%



**落札率(土木)**  
 (H29) 88.9%  
 ↓ +0.6  
 (H30) 89.5%

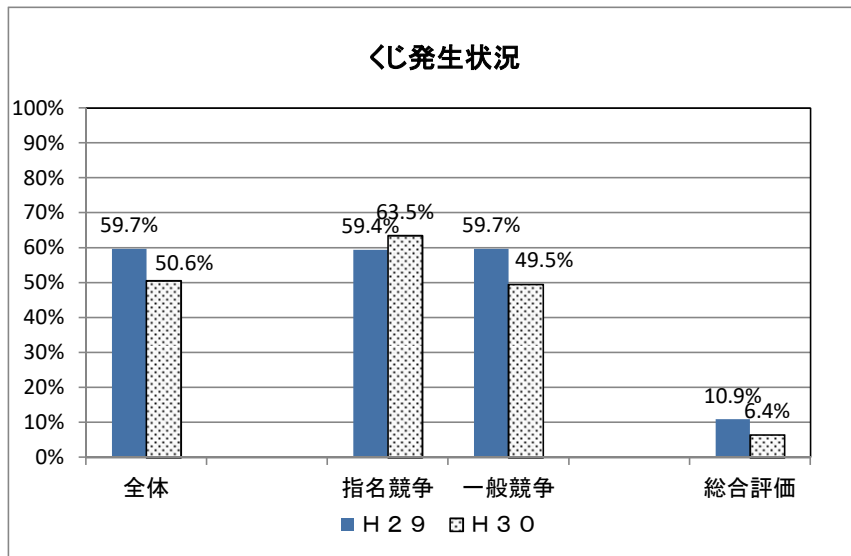
**落札率(舗装)**  
 (H29) 88.1%  
 ↓ Δ0.4  
 (H30) 87.6%



**不調・不落状況**  
 (H29) 11件(1.0%)  
 ↓  
 (H30) 25件(3.7%)

※H30は11月末まで

## ◆入札状況分析(2)



### くじ発生率

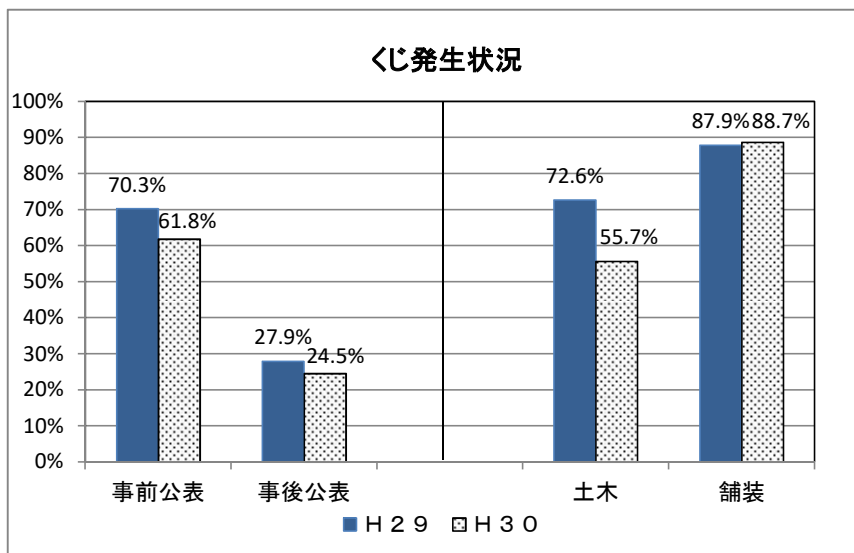
(H29) 59.7%  
↓ △9.1  
(H30) 50.6%

### くじ発生率(総合評価)

(H29) 10.9%  
↓ △4.5  
(H30) 6.4%

### 総合評価

(H29) 118件(10.9%)  
↓ +5.2  
(H30) 109件(16.1%)



### くじ発生率(土木一式)

(H29) 72.6%  
↓ △16.9  
(H30) 55.7%

### くじ発生率(舗装)

(H29) 87.9%  
↓ +0.8  
(H30) 88.7%

※H30は11月末まで

### 《 考 察 》

- ・ 落札率はわずかに上昇したが、最低制限価格との差は依然として小さく、最低制限価格付近での競争が継続
- ・ 特に、土木一式工事、舗装工事では引き続き激しい競争
- ・ 不調・不落の発生状況が4年振りの水準に到達
- ・ 災害復旧工事など今後の計画的事業執行に工夫が必要
- ・ くじ発生率は約10ポイント(土木一式では約17ポイント)低下  
総合評価の比率増が奏功と思慮。
- ・ しかし、5割以上がくじで依然として高い発生率



**測量等業務委託に係る最低制限価格の設定後の  
入札状況について(H26.12～H30.11)**

	H26.12～H27.3	H27.4～H28.3	H28.4～H29.3	H29.4～H30.3	H30.4～H30.11
	最低制限価格あり	最低制限価格あり	最低制限価格あり	最低制限価格あり	最低制限価格あり
件数	227	951	871	772	470
平均落札率	88.0%	85.2%	86.0%	86.5%	85.8%
平均最低制限価格率	76.6%	74.7%	77.8%	78.6%	78.6%
平均入札者数	9.2	9.4	9.4	9.4	9.1
くじ発生件数、発生率	7(3.0%)	72(7.6%)	93(10.7%)	106(13.7%)	86(18.3%)
失格発生件数、発生率	21(10.8%)	120(12.6%)	116(13.3%)	62(8.0%)	46(9.8%)
平均失格者数	0.2	2.0	0.3	0.1	0.2

# 発注類型別一覧表

対象: 予定価格250万円超の競争入札に付した建設工事

営業 所在地	類型 番号	発注工事内容	件数					
			H25	H26	H27	H28	H29	H30(4-11)
府内・府外	1	鋼橋やPC橋等の橋梁上部工や消化ガスタンク等の専門工事	19	20	14	11	9	8
	2	技術的難易度が高いトンネル工事	0	0	0	1	0	0
	3	法面処理等工事のうち特殊機械や専門技術を要するもの	27	25	21	12	9	6
	4	特殊機器(設計やシステム開発を伴うもの)の工場製作を含む設備工事及びその点検・修繕工事	114	116	95	110	82	66
	5	重要文化財建造物の保存修理工事のうち高度で特殊な技術を要するもの	18	16	13	20	22	17
	7	府内に施工できる企業がないか極めて少ない「個別」の工事	2	0	1	0	1	0
	8	WTO対象工事	2	1	1	1	3	0
小計			182	178	145	155	126	97
府内	9	施工可能な府内企業が少数であるが、府内企業のみに入札参加を認める工事	0	0	0	0	0	0
	空欄	従来の府内向け発注	1,348	1,151	1,092	1,042	958	581
合計			1,530	1,329	1,237	1,197	1,084	678
府内発注率			88.1%	86.6%	88.3%	87.1%	88.4%	85.7%

# 公契約大綱に係る元請下請関係適正化実施状況調査結果

## 1. 調査対象工事数

	H29	H30
対象全工事件数	1,581件	749件
うち下請契約をした工事件数	1,172件	554件
下請契約件数	4,417件	2,064件

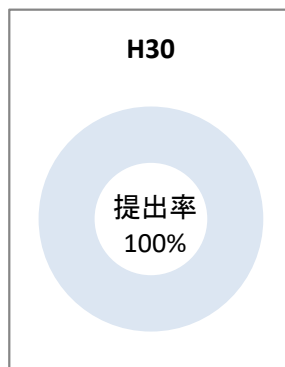
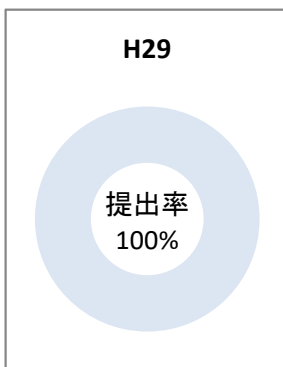
※H29年度対象工事：H29年4月1日～H30年3月31日に完成検査をした工事

※H30年度対象工事：H30年4月1日～H31年12月31日に完成検査をした工事

## 2. 調査結果内訳

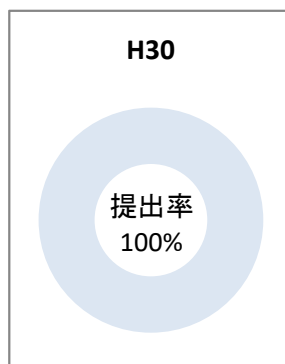
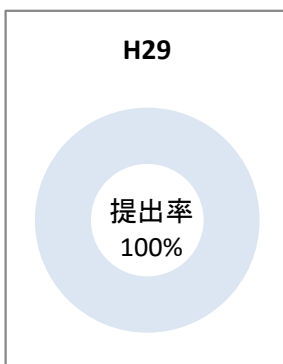
### ◇元下指針における遵守事項の実施状況について

#### (1) 施工体系図の提出状況 ※対象：下請契約をした全ての工事



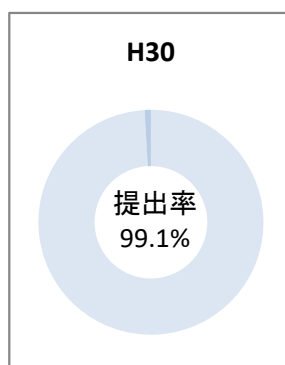
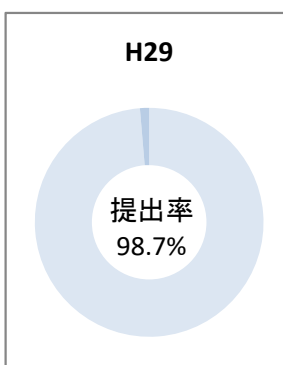
	H29	H30
提出対象件数	1,172	554
提出件数 (提出率)	1,172 (100%)	554 (100%)

#### (2) 下請契約書(写)の提出状況 ※対象：全ての下請契約



	H29	H30
提出対象件数	4,417	2,064
提出件数 (提出率)	4,417 (100%)	2,064 (100%)

#### (3) 契約遵守窓ロステッカー提示状況 ※対象：下請契約をした全ての工事



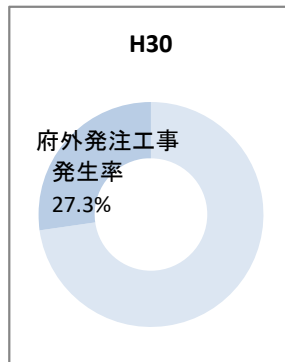
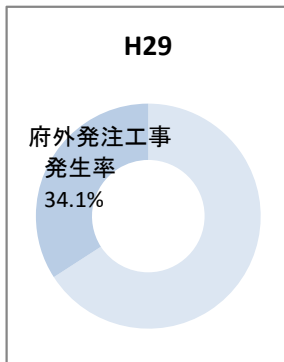
	H29	H30
提出対象件数	1,172	554
提出件数 (提出率)	1,157 (98.7%)	549 (99.1%)

(4) 所属におけるコンプライアンス対策の取組

各発注所属に入札コンプライアンス管理指導チームを設置し、接触制限に係る記録の確認、入札関係情報の管理状況等の点検・確認、検証を実施

◇元下指針等における努力義務事項の実施状況について

(1) 府内企業への下請発注の徹底 ※対象:下請契約をした全ての工事



	H29	H30
対象工事件数	1,172	554
府外発注発生工事件数 (発生率)	400 (34.1%)	151 (27.3%)

- 府外企業への下請発注が発生した主な理由
- ・特殊な技術を有する府内企業がなかったため
  - ・工程の都合上、府内業者を確保できなかったため

(2) 重層的な下請構造の改善 ※建築一式3次超、建築一式以外2次超

	H29	H30
重層下請発生件数	9件	1件

- 重層下請が発生した主な理由
- ・クレーン車の調達が困難であったため

### 3. (2) 入札契約制度等の改善に向けた取り組みについて

① 地域の安心・安全を支える建設業の維持・育成について …… P1

② 予定価格の事後公表拡大について …… P2

③ 地域で頑張る企業を支える総合評価方式の見直しについて  
…… P3

# ①地域の安心・安全を支える建設業の維持・育成について

## 1. 現 状

- 技術者・技能者の不足(高齢化・若手不足)
- 最低制限価格に張り付く入札(低利益)
- 災害復旧等の緊急事態には、不調・不発発生



経営不安  
当面の経営維持

## 2. 対 応

### ■その1

- 建設業が将来に希望が持てる産業へ



○長期見通し(新総合計画)

- 事業量の安定的確保



○予算増(3か年緊急対策)  
○府民協働型インフラ保全事業

### ■その2

- 担い手確保のための取組



○建設業魅力発信プロジェクト事業  
○週休2日の推進など

- 品質確保、生産性向上のための取組



○書類の簡素化  
○ICTの推進

### ■その3

- 公平性・競争性が保てる  
入札制度の改善



②予定価格事後公表の拡大

③地域で頑張る企業を支える  
総合評価方式の見直し

## ② 予定価格の事後公表拡大について

### 1. 事後公表拡大の取組

- ▶ 建設業者の技術力、経営力による適正な競争環境の確保のため、国から入札契約適正化法に基づく要請等
  - ✓ 予定価格事前公表の適否を十分検討し、適切な対応を
- ▶ 予定価格事後公表の対象工事を予定価格4,500万円以上の工事から、予定価格2,500万円以上の工事に拡大(H29.9)
  - ✓ 予定価格2,500万円以上4,500万円未満の工事で、土木一式工事は一部、舗装工事は全部を試行することとし、
    - H29は、「土木一式工事 II 等級」で 8件、「舗装工事」で9件試行。
    - H30は、「土木一式工事 II 等級」で15件、「舗装工事」で7件試行。

### 2. 実施結果

#### ▶ 予定価格2,500万円以上4,500万円未満の土木一式工事

H29	件数	参加者数 (平均)	抽選 発生率	抽選者数 (平均)	落札率
事後公表	8	17.9	87.5%	12.9	89.1%
事前公表	188	16.3	92.0%	12.7	88.9%

H30	件数	参加者数 (平均)	抽選 発生率	抽選者数 (平均)	落札率
事後公表	15	10.7	60.0%	11.6	89.9%
事前公表	142	11.1	78.2%	9.7	89.5%

#### ▶ 舗装工事

※事後公表：予定価格2,500万円以上  
事前公表： " 2,500万円未満

H29	件数	参加者数 (平均)	抽選 発生率	抽選者数 (平均)	落札率
事後公表	9	22.4	66.7%	18.0	88.8%
事前公表	90	15.1	90.0%	13.2	88.0%

H30	件数	参加者数 (平均)	抽選 発生率	抽選者数 (平均)	落札率
事後公表	7	31.0	85.7%	25.2	88.5%
事前公表	87	14.4	87.4%	13.3	87.5%

#### ▶ 検証

- ✓ 非公開情報の聞き出し等に関する情報、その他(談合等)不正は確認されず。
- ✓ 試行の継続について、業界等から特段の意見はなく、また、入札に混乱も生じていない。

### 3. 今後の予定

コンプライアンスに関する取り組みも合わせて、引き続き試行していきたい。

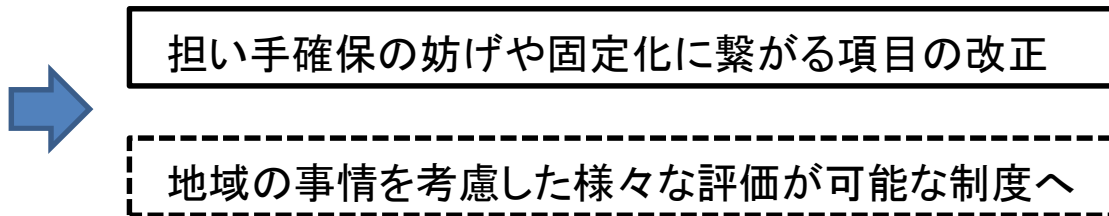
### ③地域で頑張る企業を支える総合評価方式の見直しについて

#### 1. 背景

- 平成18年度から総合評価競争入札を適用する中で、各企業の取組により加算点の高得点化がすすみ、技術評価点の高止まりがみられ、点数や落札者の固定化の傾向がみられる
- 分析結果については平成30年度第3回京都府総合評価競争入札委員会で報告

#### 2. 現状・分析

- 建設業協会へのヒアリングの実施
  - ① 「技術職員数の維持」や「同規模工事の最高評点」で高得点獲得を目指すため、高齢の技術者を雇用し続けざるを得ない
  - ② 「優良工事施工者表彰」は有効期間が長すぎる
  - ③ 地域貢献(災害対応や除雪)に関する項目をさらに評価してほしい【北部】
  - ④ 国の制度(若手評価等)を導入してほしい【南部】



#### 3. 今後の予定

##### ■ 対象期間の短縮や雇用に関する項目の改正

- 「優良工事施工者表彰」、「同規模工事の最高評点」の有効期間の見直し
- 「技術職員数の維持」の現状維持をプラス評価

今回改正

##### ■ 新しい評価方式の検討

- 緊急時の現場対応評価の見直し
- 担い手確保
- 地域貢献評価

次回以降  
改正予定



### 1. 最近の自治体における官製談合事件

#### 【近畿】

逮捕年月日	発注機関	逮捕者
平成27年12月	長岡京市	課長補佐
平成30年5月	滋賀県米原市	市民部長
平成31年2月	京都府精華町	担当者
平成31年3月	兵庫県西宮市	担当者
平成31年3月	大阪府大阪市	担当者

#### 【近畿外】

逮捕年月日	発注機関	逮捕者
平成30年7月	宮城県栗原市	建設部次長
平成30年11月	山口県周南市	都市整備部次長
平成30年12月	島根県安来市	担当者
平成31年2月	新潟県長岡市	技監 工事検査監
平成31年2月	山梨県笛吹市	環境推進課長
平成31年2月	富山県黒部市	設計担当者

※平成31年度新聞等で確認した事件を抜粋

官製談合事件の多くは職員の非公開情報(設計価格、最低制限価格等)の漏洩によるもの

### 2. 京都府のコンプライアンス対策

#### ◇規定の作成

- ・建設工事等の発注事務等に関する京都府発注担当職員行動指針(平成24年9月)

→発注担当職員の心構え、業界関係者との接触禁止や業務上接触する場合の対応方法、本方針に違反する行為は懲戒処分の対象とする等の実効性の確保を明記  
→コンプライアンス管理指導チームを設置し、担当職員の日常的な指導とコンプライアンス確保等の実施状況を確認

- ・建設工事等の入札情報に関する問い合わせ等に係る取扱要綱(平成24年9月)

→非公開情報(予定価格、最低制限価格、競争参加業者名・数、設計価格等)に関する問い合わせ等を記録・公表することについて必要な手続きを記載

#### ◇職員のコンプライアンスに係る意識喚起

- ・公所長会議や職員研修で、入札事務におけるコンプライアンス遵守に係る意識喚起を実施

#### ◇コンプライアンス対策の取り組み状況の確認

- ・四半期毎に、全庁工事発注部局に対し、コンプライアンスの取り組み状況を調査

平成31年2月京都府内地方公共団体の職員が官製談合防止法違反で逮捕された事件を受け、全庁に建設工事等の入札情報の取扱について、再度注意喚起を実施。